

武蔵越生高校は、創立67年目を迎えた伝統ある学校です。緑豊かな自然環境に恵まれた広大な敷地の中に建ち、学習やスポーツに集中できる充実の施設環境を作り上げています。第一体育館の照明設備リニューアルでは、体育の授業や、バレーボール、チアリーディングなど、見上げ動作の多いスポーツも快適にプレーできるよう、LED 高天井器具まぶしさ低減形を採用しています。

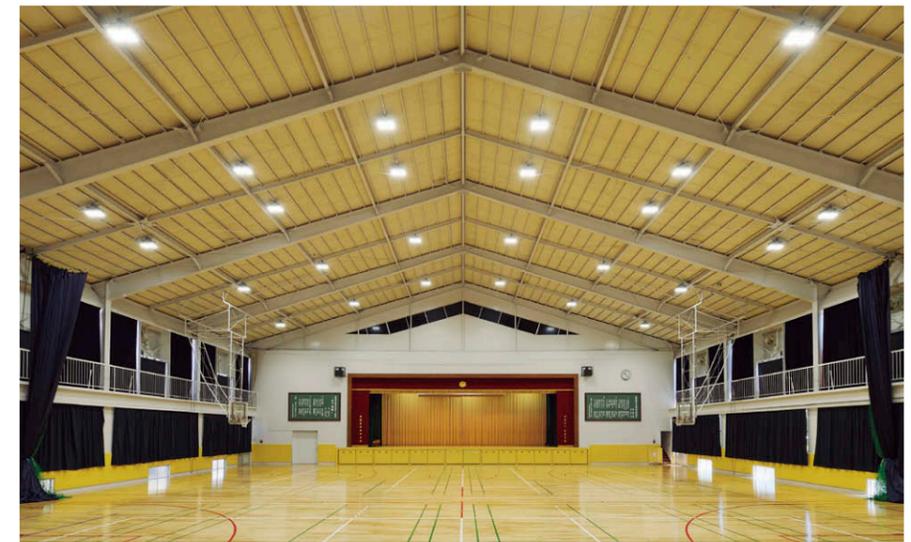
東武越生線「武州唐沢」駅から徒歩2分に位置する武蔵越生高校は、「行うことによって学ぶ」という建学の精神のもと、心豊かな実践力のある人材育成に努めています。生徒の夢や目標を育て実現させるための「志教育」も進め、4つのコースで希望進路をきめ細やかにサポート、同時にクラブ活動にも力を入れ、多数のクラブが全国レベルで活躍しています。



【物件概要】
所在地：埼玉県入間郡越生町上野東 1-3-10
建築面積：1,334.84 m²
延床面積：1,334.84 m²
構造規模：鉄骨造
施主：学校法人越生学園
建築：(株)浦池組 東京本店
施工：電気/（株）電成社 東松山支店
リニューアル完成：2018年8月



体育館の横からみた照明。仰角のまぶしさも低減。



山形天井に均等配置。

快適なスポーツプレー照明環境を創出しつつ、省エネも実現。

第一体育館（1976年竣工）は、これまで700W形HID器具を使用してきましたが、『省エネ』と『ランプ交換作業手間削減』を図るため、照明設備のリニューアルが行われました。既設の照明器具と同じ位置に、『LED高天井器具 まぶしさ低減形』へ36台を更新、明るさは、最大750ルクス、JIS Z9127 屋内スポーツ照明基準の運動競技区分Ⅱ*のバレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球などで必要とされる平均500ルクスを確保しています。拡散性カバーと一体化した構造は真下や斜めから見ても、LED素子が直接目に触れないため、バレーボールやバドミントン、チアリーディング、卓球など、見上げる動作が多い競技においても、まぶしさを低減し快適な照明環境を実現してい

ます。また、下面カバーは割れにくいポリカーボネート樹脂のため、仮にボールが当たった場合でも、HIDランプのように、ガラスが割れたり飛散する恐れはありません。1台あたりの消費電力は250.2Wのため、HID器具745Wに比べ、消費電力を約66%削減、大幅な省エネを実現しています。また、光源寿命は60,000時間と、HIDランプ12,000時間に比べ、5倍の長寿命により、ランプ交換作業手間を大幅に削減しました。リニューアル後も、体育の授業やクラブ活動で毎日使用するなか、環境への高い意識により、こまめな点灯、消灯による、さらなる省エネも行われています。

LED高天井器具36台による体育館の照明。



LED高天井器具 まぶしさ低減形

*観客のいる地域全体又は特定地域における一般的な運動競技会。高水準のトレーニング。



ステージサイドの1/2点灯。

入口サイドの1/2点灯。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
館内	LED高天井器具 まぶしさ低減形	LEDJ43001N-LD9D	36	消費電力：250.2W